

高品質再生PET

「MRPET」本格普及へ

飲料ボトル 軸に拡大 化粧品向けなど提案

協栄産業

協栄産業（栃木県小山市、古澤栄一社長）は、使用済みPETボトルを原料とする高品質の再生PET樹脂「MRPET」の普及を図る。飲料メーカー2社に採用された飲料用ボトル向けは、他の飲料メーカーからも注目を集めており、飲料ボトル用ラベルへの採用も5社程度に拡大した。化粧品ボトルや高機能繊維など、非飲料向けの用途提案も強化している。需要拡大に備え、昨年にはリサイクル設備を1系列増設した。MRPETを広く社会に普及させることで、PETボトルの高度循環利用を促す。

生産能力も増強



異物を徹底的に除去する（小山工場のメカニカルリサイクル設備）

MRPETは、使用済「カルリサイクル」を用い、PETボトルを高度化して再生した高品質ペレット。リサイクル手法「メカニ

ト。アルカリ洗浄した再生フレックを真空・高圧環境下で再縮合重合反応

させることで、異物や汚染物質を徹底的に除去する。一度劣化した物性を高めることも可能。ポ

ル容器や薄膜フィルム、高機能繊維など、従来手法では再商品化が困難だった用途への展開が可能となった。

協栄産業は、10年近くに小山工場にメカニカルリサイクル設備を導入した。まず飲料用ボトルのラベル用途で採用され、2010年からは日本初のMRPETの本格市場展開を始めている。

「異物があると製膜が難しいラベルを最初に手掛けたことが、MRPETの品質の証明となった」（古澤社長）といい、安

全性が要求される化粧品やヘルスケア製品のボトル容器、高機能繊維などへ用途を広げている。

昨年には、サントリー食品と共同で飲料用ボトルへと再商品化する「BtoBメカニカルリサイクルシステム」を日本で初めて構築。MRPETを原料の50%に用いた「リペットスタイルボトル」が製品化され、清涼飲料水のボトルに導入された。キリンビバレッジも採用を決め、今年夏から投入する。ラベルへの採用も5社程度に拡大しており、ロールフィルムとシュリンクフィルムが市場に流通している。重点ターゲットとしてきた飲料用ボトルに相次ぎ採用されたことから、本格普及に向けた安定供給体制も整える。昨年夏、小山工場で新設備1系列を増設し、3系列体制としている。BtoBは他の飲料メーカーも注目しており拡大が見込まれるため、安全性・衛生性が確認できている既存2系列をBtoB専用ラインとし、新ラインをラベルや非飲料用ボトル、高機能繊維など既存用途に振り向ける。

再生可能エネで連携

大研 再生可能エネで連携
島総 人材育成、共同研究を推進
福産

福島大学と産業技術総合研究所は16日、再生可能エネルギー分野の人材育成・研究開発について連携・協力協定を締結したと発表した。研究交流や研究協力を推進する。福島県は、震災と原発事故からの復旧・復興に向け、再生可能エネルギー